

栃木県 両毛障害保健福祉圏域

関係機関の顔が見える関係を活かして ～精神障害者地域生活支援ネットワークを基本に～

両毛圏域には、平成11年度に立ち上げた安足地区精神障害者地域生活支援ネットワーク会議があり、様々な活動をとおして関係機関との連携強化に取り組んできた。平成21年度から、精神障害者地域移行支援特別対策事業に3年間取り組んだ。平成25年度からは、上記ネットワーク会議に地域移行・退院促進部会を設置し、ピアサポーターを含めた管内の関係者との連携により協議、活動を行っている。

1 圏域の基礎情報

基本情報

市町村数	2市		
人口	265,598人		
精神科病院の数	6病院（うち、2病院は総合病院）		
精神科病床数	674床		
入院精神障害者数 （H28年6月末）	3か月未満：171人（26.3%）		
	3か月以上1年未満：103人（15.8%）		
	1年以上：377人（57.9%）		
	うち65歳未満：162人		
退院率（H28年6月末）	うち65歳以上：215人		
	入院後3か月時点：66.7%		
	入院後6か月時点：84.1%		
相談支援事業所数	入院後1年時点：93.2%		
	基幹相談支援センター：2		
	一般相談事業所数：6		
障害福祉サービスの利用状況 （H29年3月）	特定相談事業所数：19		
	地域移行支援サービス：0人		
（自立支援）協議会の開催頻度（H28年度）	地域定着支援サービス：2人		
	2回／年		
保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	障害保健福祉圏域	有・無	1か所
	市町村	有・無	2か所

※H29年4月時点

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

安足地区精神障害者地域生活支援ネットワーク会議
～保健・医療・福祉による協議の場～

市自立支援協議会
との連携？

啓発委員会

- ・精神科医療や障害への理解促進、啓発
- ・住民のこころの健康の保持増進を図る
- ＜検討会議＞
- ＜こころの健康講座＞
ピアサポーターからの発信、事業所紹介
- ＜若年層向け自殺対策強化事業研修会＞

- ・関係機関の連携強化
- ・安心して生活できる地域づくり

地域移行・地域交流委員会

精神障害者が地域で生活を続けられるための支援と地域生活移行に向けた支援を推進するために連携強化を図る

地域移行・退院促進部会

＜検討会議＞（企画・実施）

- ・退院支援プログラムの検討
- ・経験値の共有＝人材育成（成功事例をとおして）
- ・ピアサポートの活用推進（活動支援及び理解促進）

相談支援事業所

医療機関

検討会議

=エンジン部分

市

ピアサポ

安足C

地域包括ケアシステム構築の検討

交流部会 ⇒ 当事者及び関係機関の連携強化を図る
＜検討会議＞ ＜ボーリング大会＞ ＜ソフトバレーボール大会＞

3 評価指標の設定状況

【〇〇県全体】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32
検討中					

【〇〇圏域】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32
検討中					

【設定理由（根拠）】

-

4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

○県の研修会（7月）を第1回ワーキングと位置づけ、下記のとおり今年度の取り組みについて共有した。

- ①医療機関に対象事例の選定を依頼（3ケース報告）
→医療機関（長）への協力を依頼
- ②地域移行支援を活用した事例への支援を実践し、経過や課題を共有する
→支給決定0件の市において支給決定が出来るよう働きかけ
- ③退院支援プログラムの検討（ピアサポーターも含め）
→イメージの共有化

○ピアサポート研修会企画会議の実施（8月）

- ピアサポート活動を推進するための研修会の内容について検討した
→10月26日開催予定（講義及び実践報告）

○地域活動支援センターとの意見交換について相談

- 退院の意欲喚起をサポートする支援プログラムについて、地域活動支援センターを中心としたコアメンバーで骨子を検討予定

5 現時点での課題・悩み

○医療機関に対象事例の選定をお願いする中で・・・

→事例の選定基準が分からない

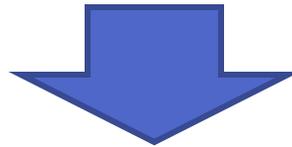
病院が支援が必要と考える事例と行政が支給決定する事例に解離がある

何度か事例を相談したが、中々支給決定してもらえず、面倒になった

○行政機関では・・・

→なぜ、この事例が地域移行支援が必要なのか理解できない。これまでも対応困難な事例は医療機関と地域で協力して対応してこられたのではないかと

支給決定の枠組みを緩めると、どれくらいのケースが対象となるのか分からない。予算の問題も・・・



医療機関において対象者の掘り起こしが出来ていないだけでなく、希望しても行政機関との認識に隔たりがあり、対象にしてもらえない！という課題が明らかになった。さあどうする！

5 現時点での課題・悩み

いざ、退院意欲のない患者さんをリストアップしてもらったけれど・・・

具体的に考えると、

- 退院の意欲喚起の支援って、誰が、どんなことをすれば良いの？
 - 病院の医師やスタッフには、どのタイミングで、どうやって説明しよう
 - 病院スタッフにお願いしたいことってなに？
 - ピアにはどうやって入ってもらおうか
 - 家族には、いつ、誰が、どうやって説明する？
- などなど分からない事がいっぱい！！



まず、事例に関わるコアメンバーで、意欲喚起のプログラムには、何か必要かを考えて見よう！

既に、取り組んでいるところがあったら、具体的な動きを教えてください。

6 精神障害者の地域移行推進のための平成29年度の取組スケジュール

平成29年度の目標

1. 退院支援の促進(成功事例を重ね経験値の共有を図る)
2. 退院支援プログラムの検討(退院へのモチベーションづくりのためのツールの検討)
3. ピアサポートの活用推進(ピアサポートの普及・理解促進、活動支援)

時期(月)	実施内容	担当
随時	・地域移行支援を活用した退院支援(経験値を上げる) ⇒事例の共有化・課題検討	医療機関・相談支援・市・安足C・ピアサポーター
H29年7月	・退院支援プログラム検討ワーキングの設置・検討	↓
8月	・ピアサポート研修会企画会議	
10月	・ピアサポート研修会開催	
H30年2月	・部会の開催	